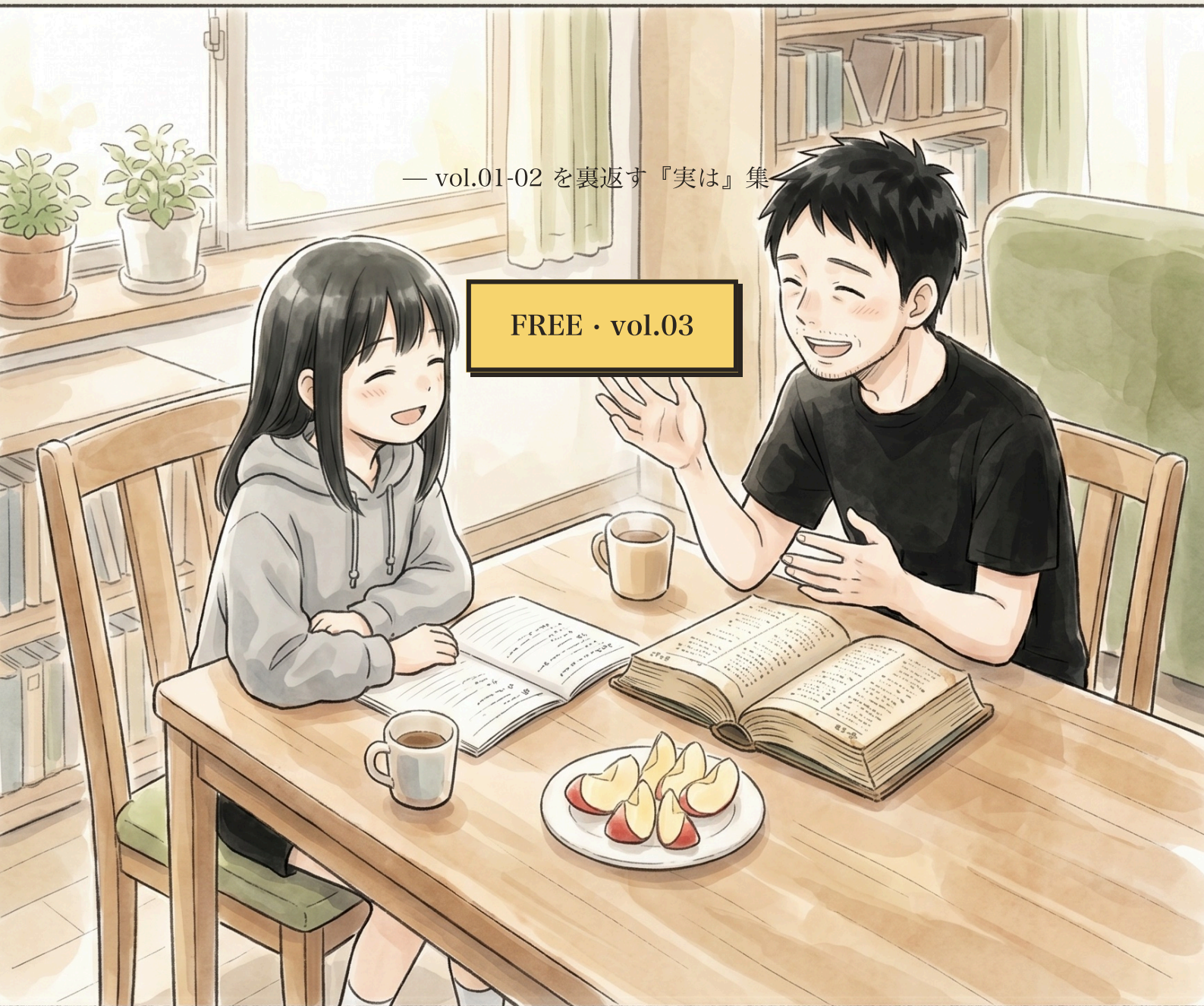


うちの娘、 実は「は？」って 言わない

— vol.01-02 を裏返す『実は』集

FREE · vol.03



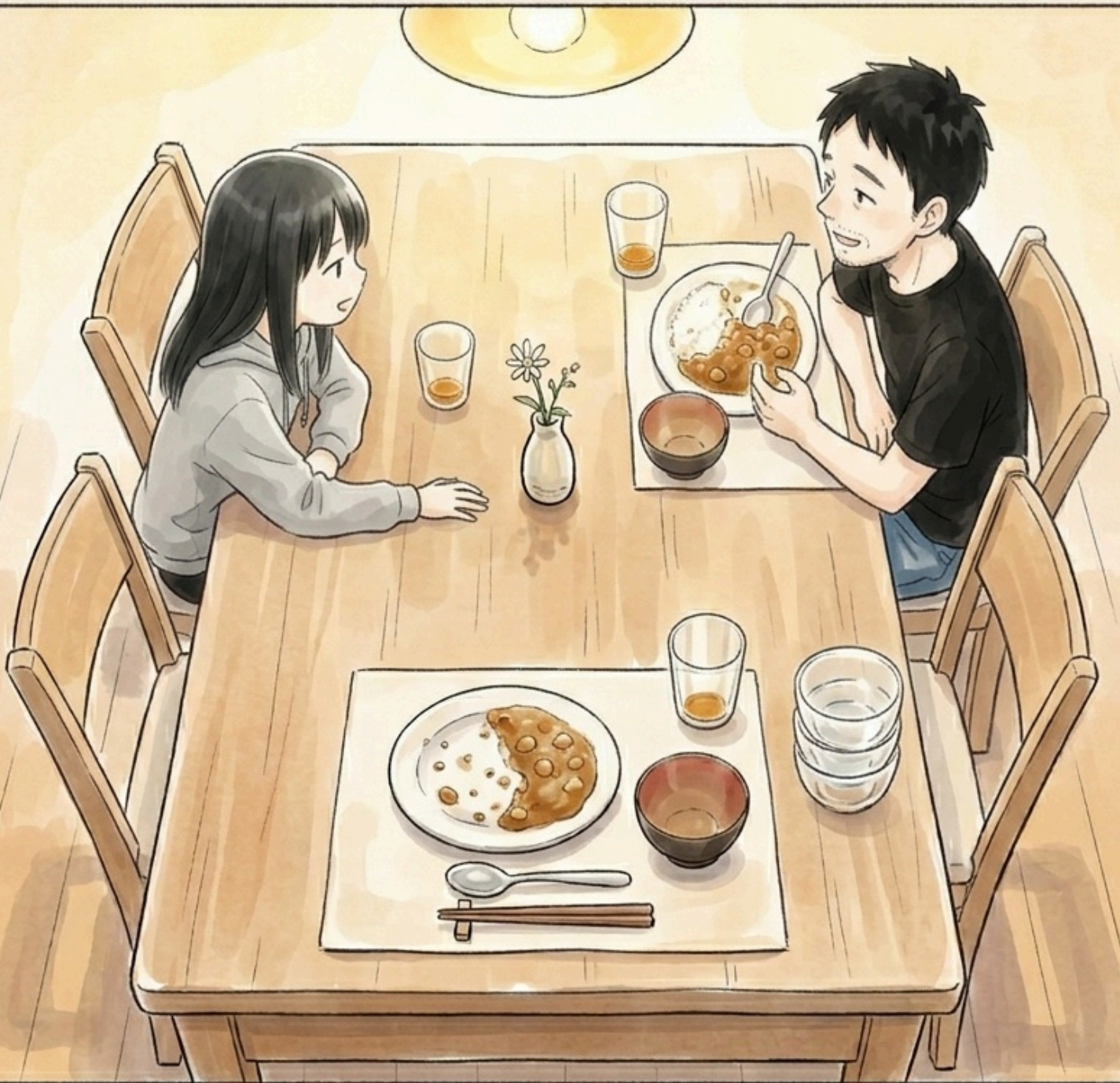
実は「は？」って言わない



vol.02では「は？」が父の発言を切るリセットボタンと書いた。
うちの娘は、そこで切らずに笑う。
父の失言は、家族の名物になっている。

実は夕飯一緒に食べる

vol.02では空席が「べつに」を物語ると書いた。
うちの食卓は、両席埋まったまま会話が続く。
おかわりも、たいてい二人ぶん。

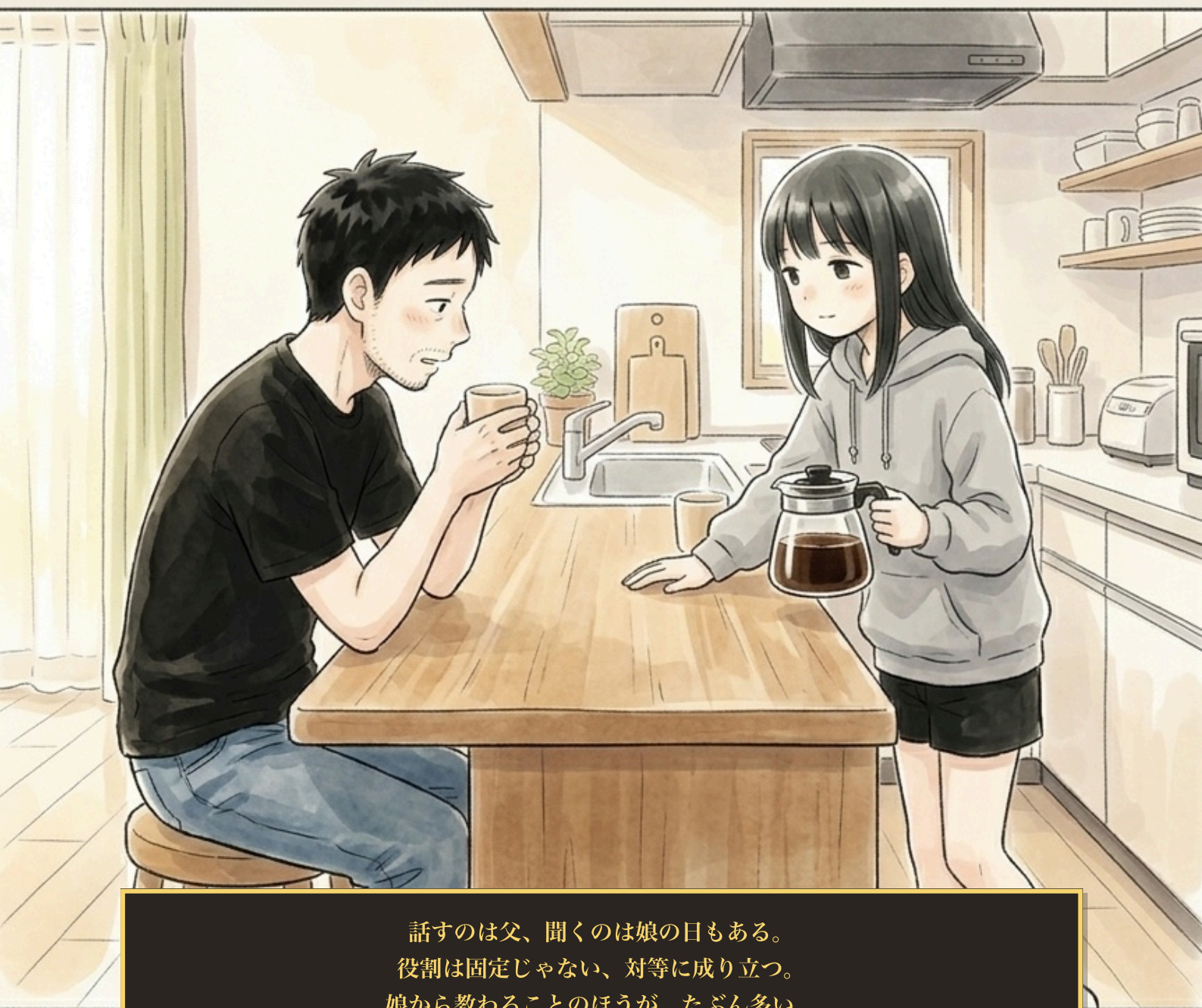


実は恋バナする



「父にだけ通じない母語」の章は、半分だけ本当だった。
うちの娘は、最初に父に話す。
父は、聞き役という名の役得を引き受ける。

実は俺の悩みを聞く側にも回る



話すのは父、聞くのは娘の日もある。
役割は固定じゃない、対等に成り立つ。
娘から教わることのほうが、たぶん多い。



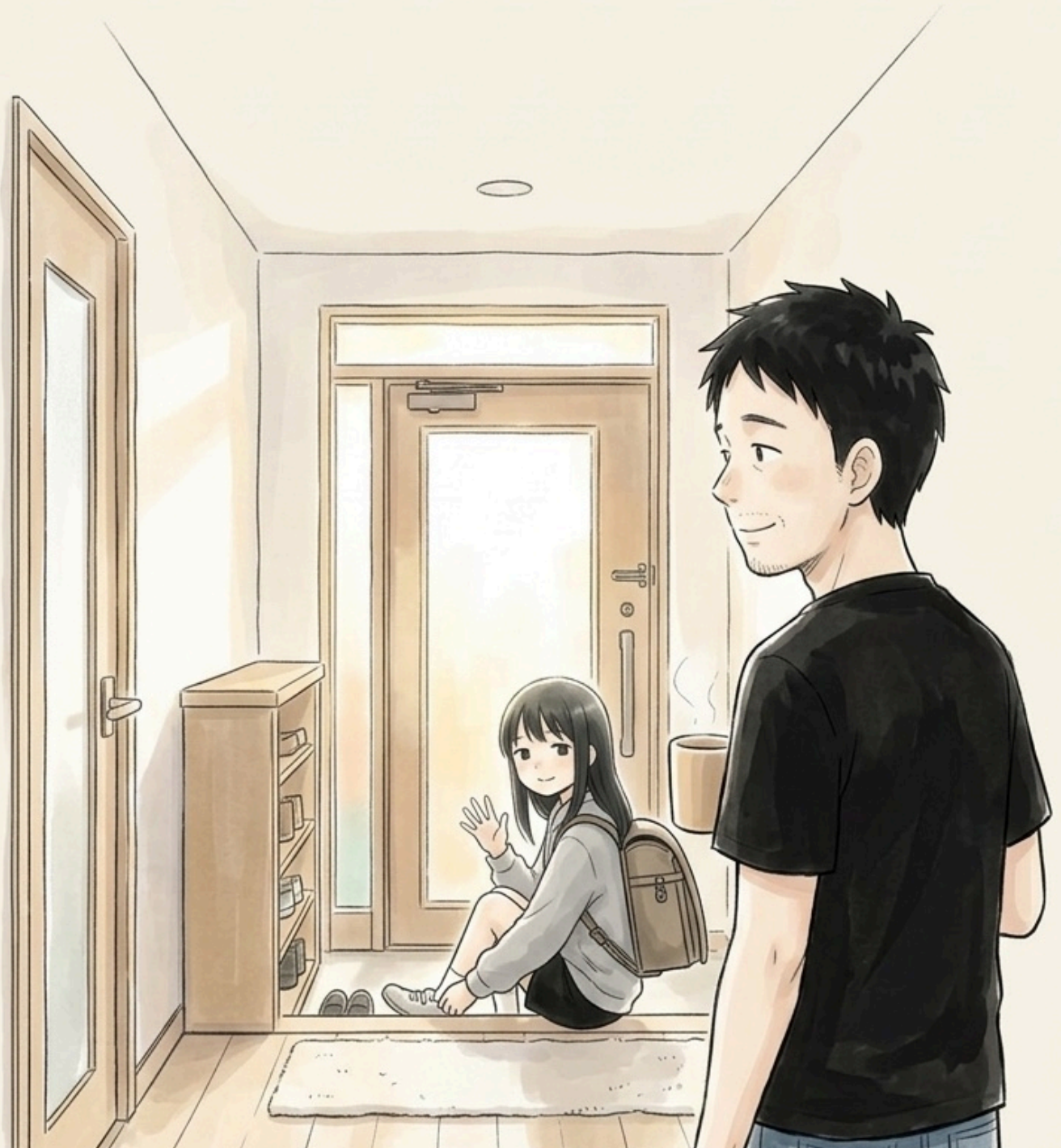
思春期娘との会話帳

6



商店街、街、温泉、ライブ。
父娘で出かけることに、特別な理由はいらない。
「友達と」と言われるより、誘われる回数の方が多。

実は「パパ」って今でも呼ぶ



「お父さん」も「親父」も、まだ来ない。
呼び方を変える理由がないから、
「パパ」のままで4年が経った。

うちの娘、
実は「は？」って
言わない



vol.04 につづく

